

## 佐世保 栄・常盤再開発

# 最後の複合ビル 完成

## 構想から14年 事業完了

佐世保市中心部で進んでいた栄・常盤地区市街地再開発事業で、全4棟の複合ビルのうち最後の常盤南ビルが完成。26日、オープニングセレモニーがあり、関係者が事業完了を祝った。事業構想から14年、中心市街地活性化への期待が懸かる。



テープカットで複合ビルの完成を祝う関係者＝佐世保市常盤町

同事業は2000年度に

検討が始まり、11年9月着工。三ヶ町アーケードがある同市栄、常盤両町一帯の約6千平方メートルを4街区(栄北、栄南、常盤北、常盤南)に分けてビル建設を進め、昨年11月までに計3棟が完成していた。「サンクル」の愛称で飲食店やスパ、医療・福祉施設、マンションなどが入居し、順次営業を始めている。

完成した常盤南ビルには市中央公民館、子ども発達センターが来年2月に入居。駐車場194台分も整備し、1階には長崎角煮まんじゅうの岩崎本舗(西彼長与町)が県北初出店、来月1日にオープンする。

セレモニーで、栄・常盤地区市街地再開発組合の田島勝明副理事長は「市民や各商店街と連携し、にぎわいを創出していきたい」とあいさつ。三ヶ町商店街関

係者や朝長則男市長らがテープカットし、祝った。29日午前10時半から松浦公園(松浦町)でお祝いイベントも開催。大相撲の伊勢ノ海部屋の力士を招き、子ども相撲や、ちゃんこ鍋を振る舞う。(内野大司)